ビジュアルデザイン実習旧カリ

学校番号	3010

令和5年度 工業(ビジュアルデザイン) 科

教科	工業	科目	ビジュアルデザイン実習	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	色彩デザイン学(六曜社)・書体サンプル集(㈱国際文化カレッジ)						

1担当者からのメッセージ(学習方法等)

3年ビジュアルデザイン実習では1学期は自分でテーマを設定したポスター制作やグループによるデザインワークで、デザインの流れを学びます。2学期から学年末にかけては卒業制作として、これまでの実習で修得した専門知識や表現力等をもとにテーマを設定してすすめ、3年間を締めくくる成果として作品制作及び、プレゼンテーションを行います。最終の作品のみならず、途中経過を重視することにより作品としての完成度を高めます。

履修条件
なし

2学習の到達目標

これまでの実習・講義で学んだ総力を結集し、専門的な知識と技術などの深化・統合化を図る。ビジュアルデザインに関する課題の解決に主体的かつ協動的に取り組み、実践することができるようにする。

3学習評価 評価 規準 と評価方法

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ビジュアルデザインに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	ビジュアルデザインに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	ビジュアルデザインに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ビジュアルデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 提出状況 レポート 作品 発表	学習状況の観察 提出状況 作品 発表	学習状況の観察 提出状況 作品	学習状況の観察 提出状況 レポート 作品 発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	ポスター制作・デザインワーク	ポスター制作 ・企画・調査 ・コピーライティング ・作品制作 ・プレゼンテーション デザインワーク ・問題発見 ・企画・調査 ・ブレインストーミング ・考察 ・提案 ・発表	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:ポスターやパッケージなどのデザインが持つ特性に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:目的を理解し、達成するために、適切な手段を企画・調査し、計画を立てることができる。 c:それぞれの課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け、意図に応じて創造的な表現方法で作品制作を行っている。 d:計画的に課題に取り組み、期日内に制作を行い、発表や他者の作品に関して、自分の考えを発表することができる。	学習状況の観察 提出状況 レポート 作品 発表
2	卒業制作	卒業制作 ・問題発見 ・企画・調査 ・考察 ・中間発表 ・提案 （ポスター・冊子 パッケージ・本　など）	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:デザインで解決できる問題に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:目的を理解し、達成するために、適切な手段を企画・調査し、計画を立てることができる。 c:課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け、意図に応じて創造的な表現方法で作品制作を行っている。 d:計画的に課題に取り組み、期日内に制作を行い、中間発表では自分の考えを発表することができる。	学習状況の観察 提出状況 レポート 作品 発表
3		・制作 ・発表	○ ○	○	○	○ ○	a:デザインで解決できる問題に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:目的を理解し、達成するために、適切な手段を企画・調査し、計画を立てることができる。 c:課題に関する基礎的な技術や技能を身に付け、意図に応じて創造的な表現方法で作品制作を行っている。 d:計画的に課題に取り組み、期日内に制作を行い、発表や他者の作品に関して、自分の考えを発表することができる。	学習状況の観察 提出状況 作品 発表

※　表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c:技能　　d: 知識・理解

※　年間指導計画(例)作成上の留意点
・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。